

安全データシート(SDS)

1. 製品および会社情報

製品名 : NR プライマーAQ エポ 主剤
会社名 : 三ツ星ベルト株式会社
住所 : 神戸市長田区浜添通4丁目1-21
担当部門 : 建設資材事業部 技術・生産部
電話番号 : 078-682-3379
FAX番号 : 078-685-5681
作成日 : 2017年10月2日
改定日 :
整理番号 : K-918

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

健康有害性

急性毒性 経口 : 分類できない

経皮 : 分類できない

吸入; 気体 : 分類できない

吸入; 蒸気 : 分類できない

吸入; 粉塵、ミスト : 分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分1

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

授乳に対する又は授乳を介した影響 : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回暴露) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 (長期間) : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHSラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

警告

[危険有害性情報]

皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[注意書き]

[安全対策]

- 使用前に取り扱い説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

[応急措置]

- 次の場合は直ちに医師に連絡し、診断/手当てを受けること（飲み込んだ場合、皮膚刺激または発疹が生じた場合、眼に入った場合、眼の刺激が続く場合、気分が悪い場合、身体上の異常が生じた場合）。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 特別な処置が必要である。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- 火災の場合には、消火に粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂等を使用すること。

[保管]

- 容器を密閉して涼しい所/換気の良い場所で保管すること。
- 施錠して保管すること。

[廃棄]

- 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託し、廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名：変性エポキシ樹脂分散物

成分	含有量(%)	官報告示整理番号		CAS No.	化管法	安衛法 通知対象物質
		化審法	安衛法			
変性エポキシ樹脂	20-30	あり	既存	あり	該当しない	該当しない
ビスフェノール A 型半固形 エポキシ樹脂	5-10	7-1283	既存	25068-38-6	該当しない	該当しない
プロピレングリコールモノ メチルエーテル	1-2	2-404	既存	107-98-2	該当しない	496号
水	50-60	—	—	7732-18-5	該当しない	該当しない
その他	5-10	あり	既存	あり	該当しない	該当しない

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が止まっている場合、および呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付いた場合

付着物を拭き取り、水と石鹼でよく洗う。外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受ける。

目に入った場合

直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。洗眼の際、まぶたをよく開いて、眼球、まぶたのすみずみ

まで水がよく行きわたるように洗浄する。直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水でよく口を洗わせ、直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には何も与えてはならないし、無理に吐かせてもならない。

応急措置をする者の保護

救済者が有害物質に触れないよう手袋やゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消化剤

初期火災には、粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。

大規模火災には、泡消化剤を用いて空気を遮断する。

特定の消火方法

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

消火を行う者の保護

消火作業の際は有毒なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

漏出した場所の周辺への関係者以外の立入りを禁止する。作業の際には保護具を着用して、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。付近の着火源を取り除き、消火機材を準備する。

環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

除去方法

少量の場合は、吸着剤（おがくず、土、砂、ウエス等）で吸収させて取り除いた後、残りをウエス等でよく拭き取る。

大量の場合には、土砂等の不燃物で囲って流出を防止し、漏出したものをすくいとり、空容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

[技術的対策]

局所排気装置等を設け、通気の良い場所で作業する。

漏れ、あふれ、飛散等がないように注意して取り扱う。

保護眼鏡、防毒マスク、保護手袋等の保護具を着用し、暴露を防止する。

取り扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

[注意事項]

酸化剤並びに酸化性の強い物質との接触は避ける。

漏れ、あふれ、飛散などによる作業場の汚れを防止する。

取扱い場所には、関係者以外の立入りを禁止する。

保管

[適切な保管条件]

直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

5℃以下、40℃以上の温度を避け、屋内で貯蔵する。

施錠をして保管する。

8. 暴露防止措置

管理濃度

設定されていない
許容濃度
ACGIH
プロピレングリコールモノメチルエーテル：100ppm (TWA、8H)
日本産業衛生学会
設定されていない

設備対策

局所排気装置、洗眼、手洗い、身体洗浄用の設備。

保護具

保護眼鏡、保護手袋、保護長靴、保護服、有機ガス用防毒マスク、保護前掛け。

保護具は定期的に点検する。

作業中は飲食、喫煙はしない。飲食、喫煙前に石鹸で手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态：液体

色：白色

臭い：エポキシ臭

pH：データなし

沸点：データなし

引火点：なし

爆発限界：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重：1.06 (25°C)

溶解性：任意に混ざる/水

n-オクタノール/水分配係数：データなし

自然発火温度：データなし

分解温度：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の条件下では安定。

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：凍結を避ける。

混触危険物質：酸化性物質

危険有害分解生成物：データなし

11. 有害性情報

急性毒性 経口：分類できない

経皮：分類できない

吸入：分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：区分2 B

呼吸器感作性：分類できない

皮膚感作性：区分1 (変性エポキシ樹脂、ビスフェノールA型半固形エポキシ樹脂：有り。厚生労働省指針に定める措置をとる必要がある。)

生殖細胞変異原性：区分外 (ビスフェノールA型半固形エポキシ樹脂：厚生労働省の有害性調査の結果、微生物を用いる変異原性試

験および、哺乳類培養細胞を用いる染色体異常試験の2種類の変異原性試験で、所定の基準を超える変異原性が認められており、健康障害を生じる可能性がある。厚生労働省指針に定める措置をとる必要がある。)

発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 分類できない
吸引力呼吸器有害性	: 分類できない

12. 環境有害情報

移動性	: データなし
残留性/分解性	: データなし
生態毒性/魚毒性	: データなし

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として、許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理をする。

14. 輸送上の注意

注意事項	: 天地無用。容器にキズをつけぬよう、丁寧に扱う。
国連分類	: 分類に該当しない
国連番号	: -

15. 適用法令

化管法	: 該当しない
労働安全衛生法	
法57条の2 通知対象物質	: プロピレングリコールモノメチルエーテル 496号
消防法	: 該当しない
船舶安全法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 変異原性化学物質 (ビスフェノール A 型半固形エポキシ樹脂)
労働基準法	: 労働災害認定物質 (ビスフェノール A 型半固形エポキシ樹脂)

16. その他の情報

参考資料 MSDS・ラベル作成ガイドブック (日本塗料工業会)
GHS 分類一覧表 (関係省庁)

本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できた資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は、用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。